



▲幅約4～8mのホームは、線路から0.96～1.1mの高さ



▲県産のアカマツやスギを使用したホーム。人が立つ付近にレールが敷かれる。今後建設される下り線の高架（ホーム）は写真右手となる

# 「安藤デザイン」姿現す 在来線連続立体交差事業「新熊本駅舎」

県が進めるJR鹿児島本線などの在来線を高架化する連続立体交差事業で、建築家の安藤忠雄氏がデザインを手掛ける熊本駅舎の上り線ホームが姿を現し始めた。事業主体の県によると、全長約200mの屋根はことし3月末にも建ち上がる予定で、新たな県都の玄関は少しずつ輪郭を見せ始めた。

「森の都」をイメージしたホーム上屋は多くの県産アカマツやスギを使用するほか、駅外観に熊本城の石垣「武者返し」をモチーフとするなど熊本らしさを打ち出している。現在進行中の工事は鹿児島本線と三角線のホームで15年3月の先行乗り入れを目指しており、下り線の高架化は施工ヤードや在来線の運行による制約などで17年度完成の見込み。熊本駅舎の完成は18年度で「武者返し」が姿を見せるのはしばらく先になりそうだ。

## 「0番線跡地」でJR九州に「地元案」

### 熊本商工会議所

JR九州が再開発ビルを計画する熊本駅0番線ホーム跡地（西区春日3丁目）について、熊本商工会議所（田川憲生会長）は約3haにおよぶ同地の利活用案を報告書として取りまとめ、同社に提出した。

報告書は「物販や飲食、宿泊、居住系施設に加え、国内外から集客する修学・見学機能が求められる」とまとめた。具体的には車両デザインや鉄道テーマにした施設や有明海や天草の海の生態系を学習できる施設などを例示。このほか、医療・福祉や業務系の施設も挙げている。

同跡地は、18年度の完成を見込む在来線高架化によって生じる用地。同社の唐池恒二社長は昨年12月、ここに大規模な駅ビル建設を表明している。



主催/公益財団法人熊本県農業公社・「合志あくとつ！村」運営協議会 協力/くまもと経済・JCNくまもと

# 農業公園散策 食の名人まつり

健康と食と農のイベントで楽しい1日を!

**3月22日(土)**  
午前9時半～午後3時  
(芝生広場特設会場)

元気市の新鮮野菜の販売会もあります!

うわさの宇和島産「かくや鯛」の試食会もありますよ!

●健康講座  
午前9:30～

- ウォーキング教室
- 腰痛教室、
- 骨盤矯正講座  
(日赤健康管理センター運動指導士)

●公園ウォークラリー  
午前9:30～

●ウォークラリー  
春の公園を散策気分でお楽しみ。5ヶ所のスタンプポイントで大玉ころがしで遊んでスタンプを集めよう!ウォークラリー終了後は試食会でつくたてのお餅をどうぞ!

●農業シンポジウム  
午前11時～

「演題 未来農業のヒント!」  
柳木之内農園 会長 木之内均氏

●食の名人まつり  
午前12時～

●つくたての餅を名人のトッピング料理で提供。だご汁、ぜんざいなど  
菊池・鹿本で活躍している食の名人による料理試食をお楽しみください!

**ご招待券**  
農業公園入場無料券

切り取って入口にお渡しください  
お問い合わせ先  
熊本県農業公園 ☎096(248)7311